

所信表明

平泉町長

青木 幸保

若者が希望と誇りを持てる 町民主役のまちづくり



町議会定例会9月会議が9月5日から14日まで開かれまし
た。任期満了に伴う平泉町長選で無投票再選を果たした青木
町長は初日に、今後の町政運営に対する考えについての所信
を表明しました。今月はその内容を紹介します。

このたび、平成30年8月27日付
で2期目の平泉町長に就任いたし
ました青木幸保でございます。何
卒よろしくお願ひ申し上げます。
本日、ここに平成30年平泉町議
会定例会9月会議が開催されるに
当たり、今後の町政運営に対する
考え方について、私の所信の一端
を申し述べさせていただきます。

1期目の4年間は、農業に例え
るならば、畑を耕し、種をまいた段
階と表現してまいりました。まち
の主役である町民と行政との距離
を縮め、町民総参加のまちづくり
を行うことを掲げ、そしてこのた
び、今後もさらに推進することを
お約束いたしました。これからも
町職員と共に、町民と直接対話す
る地域懇談会や若者会議を開催し
ますし、私自身も議会は当然のこ
と、さまざまな場を捉えて多くの
方々からのご意見などに耳を傾け
て、町民総参加のまちづくりを進
めてまいります。

人口減少対策につきましては、
景気が徐々に向上き、地方創生の
名の下企業が地方へと進出を始め
た今こそ、積極的に企業誘致に取
り組み、働く場を確保し、Uター
ン、Iターンする若者を呼び込む
ことに努めてまいります。
また、子育て支援につきまして
は、待機児童ゼロを継続して達成
することを目指し、役場のみなら
ず民間事業者との連携も模索して
まいります。

さらに、高齢者福祉につつまし
ては、いきいき百歳体操の推進と
ともに高齢者が元気に明るく暮ら
せる生活支援体制づくりを進めて
まいります。
特にも交通手段のない方々に対
する交通施策につきましては、実
態を把握し、民間事業者とも協議
を重ね、新たな方策について検討
してまいります。

安全安心なまちづくりにつつま
しては、各地域の自主防災組織や
消防団と連携し、町民の安全確保

に努めてまいります。
また、近年各地で見舞われてい
る豪雨災害につきましては、より
速やかに避難情報などを届けるこ
とができるように、体制を整えて
まいります。

さらに、災害時における要援護
者の支援につきましては、民生委
員、行政区など関係機関の理解と
協力を得ながら、推進してまいり
ます。

農業の振興につきましては、東
稲山麓の世界農業遺産を目指し、
それを地域活性化の起爆剤にしよ
うと取り組んでまいりました。残
念ながらこのたびは見送られたわ
けですが、この活動によって、さ
ざまな取り組みが始まり、地域が
元気になっていくのを実感いたし
ております。今後につきましては、
岩手県と奥州市、一関市でつくっ
ております協議会に委ねること
になります。地域の活力と持続可
能な地域づくりを見据えながら、
再チャレンジしたいと考えており
ますので、皆さまのお力をお貸し
願えれば幸いです。

また昨年、農業と観光、商工業の
融和を図るために道の駅平泉が開
業いたしました。地域農産物につ
きましては、出荷組合の取り組み
をさらに充実させてまいります
が、町内の餅米を使用したお菓子

の売れ行きは、順調に伸びており
ます。開業して1年と半年ほどた
ちましたが、運営に関しては手探
りではあるものの、町内を活性化
させる拠点として、これからもさ
まざまな角度からサポートしてま
いります。
さらに、観光の振興につつまし
ては、外国人観光客の受け入れ態
勢を整え、インバウンド観光を推
進してまいります。

大型事業につきましては、第一
にスマートインターチェンジが挙
げられます。スマートインター
チェンジが完成することによつ
て、町民に限らず観光客の流れや
物流が大きく変化することが予想
されますが、それらを当町にとつ
て最良の方向へと導き、その効果
を最大限に生かす施策を講じてま
いります。

次に公民館と図書館を合築する
社会教育施設につきましては、教
育委員会が中心となって推進し、
用地買収や発掘調査を行い整備し
てまいります。

国際リニアコライダーにつつま
しては、政府与党が建設に前向き
な姿勢を示しておりますが、巨大
なプロジェクトであり、難解な部
分も多いことから、周辺自治体と
共にきめ細やかな普及啓発に努め

つつ、町民の理解を得ながら実現
に向けて取り組んでまいります。

教育の振興につきましては、歴
史にとどまらずに平泉町自身を知
り、平泉町を愛する心を育てる平
泉学をより一層、推進してまいり
ます。

また、これからのグローバル化
社会に向けて、英語教育に力を入
れますし、役場内に配置しており
ます国際交流員を活用した事業を
推進してまいります。

さらに、今後建設されます公民
館と図書館を合築した施設は、社
会教育の場にとどまらない多くの
方々が集えるコミュニティを形成
するにぎわいを生む空間としてま
いります。

世界文化遺産につきましては、
登録7周年に当たる本年度から10
周年記念事業を企画立案すること
により、その周知を図り、意識をさ
らに醸成してまいります。

また、世界文化遺産の保護と活
用につつましては、発掘調査と復
元整備を進め、それらを公開する
ことよって多くの町民が親しみ
の持てるものにしてまいります。

最後にとなりますが当町は、非常
にコンパクトな町ですが、その特
性をメリットに変えていきます。

例えば全行政区を回っての地域懇
談会、毎年400人を超える町民
が集って開催される新年交賀会な
どは、平泉町でなければできない
取り組みといえます。この町民と
行政のお互いの「顔」が見える関係
性こそは、当町の大きな魅力の一
つだと考えております。今後もこ
の魅力を最大限に生かしていく所
存です。

以上、今後の町政運営の基本に
ついて申し述べました。

このたびの立候補を通して、た
くさんの町民の方々から多くのご
意見を頂戴いたしました。私は、町
民と行政の対話を大切にし、一緒
にまちづくりができる環境づくり
を目指します。

明日の平泉をつくる主役は町民
です。次代を担う若者たちが希望
と誇りを持てるまちづくりに、全
力を尽くします。
これが私の2期目の平泉町長と
しての決意です。

議員皆さまのご理解とご協力、
町民の皆さまの町政への参画を心
からお願ひ申し上げます、私の所信表
明といたします。

平成30年9月5日

平泉町長 青木 幸保